

Ⅲ. 事業計画

1. 助成事業(公益目的事業1)

1) 福祉たすけあい助成

(1) 通常型助成(26期)とスタート助成(27期)に取り組みます。

第26期助成額を総額400万円とします(1団体上限100万)とします。

第27期助成額を総額500万円とします(1団体上限40万)とします。

(2) 募集活動について

募集は、チラシ、メールマガジンなどで発信します。

説明会はオンラインで開催します。

期	募集月	選考月	助成月	対象事業期間	贈呈式
26期 通常型 総額400万円	4月説明会 5月下旬募集〆切 (要項3月理事会)	6～7月 (7月理事会)	9月	2026年10月 ～2027年9月	2026年12月 (予定)
27期 スタート助成 総額500万円	11月説明会 12月中旬募集〆切 (要項9月理事会)	1～2月 (3月理事会)	3月	2027年4月 ～2028年3月	2027年6月 (予定)

(3) 生活クラブ福祉たすけあい助成贈呈式・つながる交流会

第25期助成団体への贈呈式を6月に、第26期助成団体への贈呈式を12月に開催します。生活クラブ共済たすけあい委員会と共催します。

2) テーマ型プログラム

(1) 「子どもの学び応援助成2026」(旧 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金)

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成から通算で6回目の助成となります。2026年は多様な子どもの学びを行う団体への助成を実施します。

総額	募集月	選考月	助成月	事業対象期間
総額100万円	5月説明会 6月募集	7月 (7月理事会)	9月	2026年10月 ～2027年9月

(2) 「女性を取り巻く社会的課題のアドボカシー活動」をテーマにした助成プログラム

WCA基金(女性市民コミュニティバンクの解散による寄付)と鈴木基金(故鈴木健一氏遺贈寄付)基金を合わせ、女性を取り巻く社会的課題のアドボカシー活動への総額100万円の助成を企画します。

3) オーダーメイドプログラム

(1) JA横浜子どもの未来支援助成 2022年～

JA横浜創立記念事業から始まったJA横浜オーダーメイド助成は、寄付団体の共感を頂き、継続し横浜市内の子どもたちを支援する活動を応援しています。今年度の継続をめざします。

(2) ユーコープ子ども応援助成 2023年～

ユーコープ生活協同組合では毎年「子どもの貧困をなくす・教育」支援のため、書き損じハガキ、未使用ハガキ、未使用切手などの資源を回収する寄付活動を行い、神奈川・静岡・山梨県の諸団体へ寄付し、支援活動に役立てられています。市民基金ではこの寄付による助成を行ってきました。今年度の継続をめざします。

2. 研修・セミナー事業(公益目的事業2)

1) テーマ型のフォーラムの開催

子どもの今を支え「希望ある未来」へつなげる市民活動応援フォーラム
年に一度のフォーラム開催を継続します。

2024 年度「無料学習支援から地域で子どもを支え合うネットワークづくりを考える」

2025 年度「学校に行かない選択に寄り添う居場所活動の今とこれから」

2) 「市民活動サポート講座」の開催

助成時の相談で気づいた課題をもとに、市民活動を応援する「市民活動サポート講座」を継続します。

2024 年度 非営利団体の資金調達、非営利団体の組織マネジメント

2025 年度 非営利団体会計と NPO 法人設立、NPO 入門

3. 相談・助言事業(公益目的事業3)

1) 遺贈寄付相談・コーディネート事業

相談対応の充実のために相続セミナーを開催します。

専門相談（公認会計士、税理士、司法書士、行政書士）へのコーディネートを行います。

4. 広報発行事業(公益目的事業4)

1) 「年次報告書」

市民基金の年間活動が一目で分かるビジュアルでスマートな資料として総会終了後の 6 月発行し、賛助会員への財団活動報告資料、賛助会員拡大ツールの一つと位置づけ、積極的に活用します。

2) 「メルマガジン」

関連団体、名刺交換した人、助成団体などに約 1000 人以上に配信しています。メルマガ配信を受けた人からの拡散などもあり、財団の広報力アップに大いに寄与しており、今後も有効な広報ツールとしてブラッシュアップさせ活用します。

3) 「市民活動応援レポート」

財団の活動情報をおおぜいの寄付者（生活クラブ組合員や外部）に伝える媒体として発行し、市民資本が市民社会を元気にする活動を紹介します。

生活クラブとの協議により、年 2 回組合員（コモンズ組合員、デポー組合員）への配布を行います。

4) 「助成団体報告書」

「福祉たすけあい基金 BOOK」生活クラブ福祉たすけあい助成の報告書

「JA 子どもの未来支援助成報告書」の作成

「ユークoop 子ども応援助成報告書」

「子どもの学び応援助成報告書」

寄付金がどのように活用され、役立っているかを報告し、寄付の拡大につなぎます。

助成団体の紹介を通じ、地域活動の見える化、地域連携、寄付活動の拡大をめざします。

配布対象は、寄付団体、生活クラブリーダー、寄付者、賛助会員、これから申請を検討す

る団体など。まちづくり基金拡大、オーダーメイド寄付者拡大として配布対象を広げ活用します。

5) プレスリリースを強化します。

プレスリリース「P R T I M S」※等を活用します。

※PR TIMES は、日本国内で最も利用されているプレスリリース配信サービスで、情報を広くメディアに届けるためのプラットフォーム。生き生き市民基金は、同社の「社会課題に取り組む非営利団体サポートプロジェクト」の審査を通過しました。

IV. 寄付造成計画

1. 福祉たすけあい基金(生活クラブ福祉たすけあい助成)

福祉たすけあい基金は、生活クラブまちづくり基金からの寄付と一般寄付となります。

生活クラブまちづくり基金からの寄付額については、基金管理運営団体「生活クラブまちづくり基金」での決定となります。

2026 年度の予算については、2025 年度の福祉たすけあい基金の実績を予算化します。

	目標金額	備考
生活クラブまちづくり基金からの寄付	13,000,000 円	実績から試算
一般寄付（個人・団体）	200,000 円	実績から試算
合計	13,200,000 円	

2. 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金（助成名「子どもの学び応援助成 2026」）

2019 年秋に遺贈生前寄付の枠組みで募集を開始した基金で、100 万円集まると助成を行います。2025 年 1 月までに約 600 万円の寄付があり、2022 年から困難な状況にある子どもの食支援、学習支援をテーマに 4 回の助成を実施しています。

2026 年から遺贈生前寄付の枠を外し、テーマ型助成として〈困難な状況におかれた子どもの未来を応援する〉プログラムの継続実施に向けた寄付を呼びかけます。

助成は、財団の他のプログラムとのバランスを考え年度ごとにテーマ設定をします。

2026 年は、子ども食堂等食支援に比べ体験を含む子どもの多様な学びへの助成プログラムが少ない状況を考え、「子どもの学び応援助成 2026」を実施します。

3. (仮称) 社会的課題のアドボカシー活動応援基金

W C A ・ S U Z U K I 基金を基にした新たなプログラムをきっかけに、市民活動の実践を社会に広げる活動や自治体の政策につなぐアドボカシー活動に特化した新たな基金造成を検討します。

4. 賛助会員拡大を通じて必要な運営費の確保をめざします。

① 個人会員目標

2026 年 2 月末実績		2026 年度目標	
会員数	188 名（納入 112 名）	会員数	200 名
賛助会費	507,000 円	賛助会費	600,000 円

② 団体会員

2026 年 2 月末実績		2026 年度目標	
会員数	40 団体（納入 23 団体）	会員数	45 団体
賛助会費	510,000 円	賛助会費	600,000 円

V. 運 営 管 理

1. 組織運営

1) 機関会議運営

① 評議員会

- ・ 定時評議員会を 6 月に開催します

② 理事会

- ・ 定例理事会を年 4 回、リアル開催とします（5 月、9 月、12 月、3 月）
- ・ 必要に応じて臨時理事会を開催します。

2) 助成事業運営

- ・ 生活クラブ福祉たすけあい助成は、選考部会（一次書類選考）・選考委員会（二次書類選考）を経て、理事会で承認します。
- ・ オーダーメイド助成等は選考委員会を中心に選考を行います。

3) 業務管理

- ① 財団の事務の合理化、効率化に努めます。
- ② おおぜいの寄付者への発信力、助成団体とのコミュニケーション力を高めます
- ③ 市民基金のステークホルダーとの連携力を高めます。

4) 関連団体との連携

団体と日常的に連携します。（順不同）

県内非営利組織	生活クラブ生活協同組合 一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ 公益財団法人横浜 YMC A 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 特定非営利活動法人 WE 2 1 ジャパン 特定非営利活動法人地球の木 特定非営利活動法人参加型システム研究所 特定非営利活動法人全員参加による地域未来創造機構 福祉クラブ生活協同組合 神奈川県生活協同組合連合会 神奈川県労働者福祉協議会 公益社団法人神奈川県地方自治研究センター 一般社団法人川崎市地方自治研究センター 公益社団法人フードバンクかながわ J A 神奈川県中央会 J A 横浜（オーダーメイド寄付団体） 生活協同組合ユーコープ（オーダーメイド寄付団体）
---------	---